

熊本県戦没者追悼式 平和への誓いを新たに

終戦記念日の8月15日に、市民会館崇城大学ホールで追悼式があり、約1,300人が参列しました。富合校区遺族会(村上國夫会長)からは10人が参列。小学生4人は児童代表として献花。平和を願う思いを寄せてくれました。

村田ともたか君(2年)

「ぼくのひいじいちゃんもせんそうでなくなりました。せんそうはこわいと思います。せんそうはきらいです」

村田 知穂さん(6年)

「私はなんで戦争は始まって、終わったのか、その理由を知りたいです。今は平和なのでうれしいです。追悼式に行って戦争でなくなった人がたくさんいることを知りました。戦争のほんとうのこわさは知りません。これからはずっと平和で人を殺し合うことはしたくないです」



献花をした富合小学生

平江 舞杜香さん(4年)

「戦争中の人達は戦争をすることが日本のためだと思っていた人が少し多かったのかもしれないけど、今はみんなが戦争は必要ないと思っていると思う」

米原 愛紀さん(3年)

「せんそうがおわってよかったと思いました。せんそうでなくなられたかたの分も、私が今できることをがんばろうと思いました」

県警「音の架け橋コンサート」

8月18日の「アスパル富合ホール」は満席です。「おやしバンド」(富合町から友情出演)の演奏で開幕。県警音楽隊の演奏は「刑事ドラマメドレー」「美空ひばりメドレー」カラーガード隊員による「くまモン体操」等々。その演奏の間には「犯罪防止」「自転車盗難防止の二重ロック」「振り込め詐欺の手口」について等の話にうなずき、そしてすばらしい演奏を楽しみました。最後はアンコールにに応じていただきました。曲は「ふるさと」。ありがとうございました。玄関前では体験コーナー。



心に残る曲、曲、曲でした



くまモン体操 かっこよく!



ステキな音色!



白バイ乗車体験



シートベルト衝撃体験

地域の力「富合校区青少年指導員」の活動



8月17日 午後7時 パトロールに出発

熊本市青少年指導員協議会の組織の中で活動。富合校区は地域の指導員3人に小・中学校の職員4人が加わります。

平成24年度活動目標

「青少年たちへの温かい思いやり精神」で「地域の子どもは地域で守り育てる」の視点で青少年の健全育成に努める。

- 富合校区**
- 毎月1回 富合町内、宇土市などの近郊の巡回指導。
 - 各イベントなどへの参加、指導。
 - 情報の受付。必要時の巡回指導など。

「最近気になることは、たまり場や暴走行為です。地域みんなで見守りましょう」と田中指導員は話していました。